

上田中央地域協議会会議録

日 時 平成 19年 2月 21日 (水) 午前 10時から 11時 40分
場 所 上田市中央公民館 2階第 1会議室
出席委員 岡田委員、荻原委員、金子委員、河野委員、北川委員、栗俣委員、小林委員、白石委員、田口委員、竹内委員、那須野委員、林委員、前澤委員、三吉委員、山内委員
市側出席者 中沢商工課長、西川農林課長、関農地調整担当係長
原沢自治振興課長、柳沢主査

1 開会 (原沢自治振興課長)

2 会長あいさつ (林会長)

総合計画の地域まちづくり方針については、建設的かつ活発なご意見を頂戴し策定することができた。2月9日に市長へ答申書を提出したところである。

市長からは、総合計画審議会へ送付する際、地域まちづくり方針を最大限尊重して総合計画を策定していく旨のあいさつがありましたので、ご報告申し上げます。

本日は報告事項の後に、今後の活動につきましてご意見をいただきたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

3 会議事項

(1) 報告事項

ア 合併協定書 (合併協定項目) の合意事項の変更について

(林会長)

合併協定書の合意事項の変更について事務局から説明をお願いします。

(原沢自治振興課長)

上田市地域自治センター条例第7条第1項及び同規則第3条に基づき、合併協定書の合意事項の変更について、商工課長と農林課長から報告がありますのでよろしく申し上げます。

資料 1-1 合併協定書記載項目

資料 1-2 合併協定書 (合併協定項目) の合意事項の変更について

中沢商工課長、西川農林課長から説明

【変更内容】

商工関係

商工会議所、商工会補助金

協定書記載事項

合併時は現行のとおりとし、平成 19年度までに各団体に交付していた補助金を合体し、補助金交付基準を統一する。

変更内容

平成 22年度までに補助金交付基準を作成し、段階的に統一する。

変更理由

県が統合協議のため、平成 22年度まで猶予期間を設けるなど補助金制度改革案を見直すこととなったため、各商工団体も時間をかけて統合について検討することとなった。市の補助基準作成の期限も、これにあわせて変更するものである。

小規模経営指導事業補助金

協定書記載事項

商工団体の主体的な活動を支援するため、商工会議所・商工会補助金と併せて調整を進め、合併時は現行のとおりとするが、平成 19年度までには内容を精査し、商工会議所・商工会補助金に合算し、廃止する。

変更内容

商工団体の主体的な活動を支援するため、商工会議所・商工会補助金と併せて調整を進め、合併時は現行のとおりとするが、平成 22年度までには内容を精査し、商工会議所・商工会補助金に合算し、廃止する。

変更理由

上記「商工会議所・商工会補助金」の変更理由に同じ

農林関係

補助金等の取扱い

・有害鳥獣駆除対策事業補助金

協定書記載事項

補助金等については、新市において 1年以内に協議会構成団体と調整を図り統一する。

変更内容

捕獲に係る報奨金等については、上田市有害鳥獣駆除対策連絡協議会において協議・調整を図る。

変更理由

駆除協力団体である猟友会は、地区の実情に応じた体制で駆除をしてきており、猟友会等の理解を得ながら進める必要があるため。

・農畜産物価格安定対策掛金補助金

協定書記載事項

果樹について、上田市及び丸子町の例により統一する。

変更内容

果樹にかかる価格安定対策掛金補助金は廃止する。

変更理由

国で行っていた果樹価格安定対策制度が平成 18年度もって廃止されたため。

農業振興事業等の取扱い

- ・ 水田農業構造改革対策事業

協定書記載事項

新市において 1年以内に調整し、統一を図る。

変更内容

平成 19年度から平成 22年度までは各地域に設置する地域水田農業推進協議会において実施する。

変更理由

平成 19年度から始まる米の新需給調整システムへの移行に伴い、従来の生産調整方式の急激な変更は、大きな混乱を招く恐れがあり、生産調整の目標達成に支障がでることが予想されるため。

- ・ 水田農業推進委員会

協定書記載事項

地域事情を配慮するうえで組織等の調整をし、統一を図る。

変更内容

旧市町村単位に設置されている地域水田農業推進協議会は平成 22年度まで継続し、その連絡調整組織として「上田市地域水田農業推進協議会連絡協議会」を新たに設置する。

変更理由

上記「水田農業構造改革対策事業」の変更理由に同じ

(林会長)

商工課、農林課からそれぞれ報告がありましたが、質問等ございますか。

質問等なし

イ 上田中央地域「地域まちづくり方針」の答申について

(林会長)

上田中央地域「地域まちづくり方針」の答申について、事務局から説明をお願いします。

資料2 「第1次上田市総合計画地域まちづくり方針一覧」

原沢自治振興課長説明

2月9日（金）9地域協議会の各会長から一斉に市長へ答申された。

（林会長）

この件につきまして、質問事項等ございましたらお願いします。

（委員）

確認ですが、市は総合計画を平成20年4月までに策定するということが。

（原沢自治振興課長）

地域まちづくり方針は、現在総合計画審議会で審議されている総合計画の中に位置づけられる。

総合計画は、平成19年の9月議会へ提案し、平成20年4月スタート予定である。

ウ 会議中の委員名の取扱いについて

（林会長）

事務局から説明をお願いします。

（原沢自治振興課長）

会議録の委員名の取り扱いですが、1月18日の地域協議会連絡会議の後、各地域協議会で検討いただいたところであります。真田地域協議会を除いた8地域協議会については委員名を公表していくという結論でございます。

今後連絡会議で調整を考えておりますが、上田中央地域協議会につきましては前回の協議会で検討し決定いただいたとおり、当面委員名を公表していくことで、御了承いただきたいと思っております。

（林会長）

ただいまの説明の中で、質問等ございますか。

（委員）

真田地域はどういった理由で委員名を公表しないのか。

（原沢自治振興課長）

具体的には聞いていないが、公表することは委員の積極的な発言に支障があるということのようである。

（委員）

前回の説明では、9地域協議会すべてが委員名の公表を行うという結論であれば、一斉に公表していくということであった。先程の説明は、各協議会で独自に検討し、公表か非公表が決まったということか、それとも8協議会は公表するということに決まったということか、再度確認したい。

（原沢自治振興課長）

それぞれの協議会が独立して活動していくのが基本であります。市といたしましては全協議会公表していくことができると考えていたが、今回真田地域だけ非公表という結論でありますので、それぞれの協議会独自の方向で進めていくということになったわけです。

次回の連絡会議でご意見を伺ってみたいと考えております。

(委員)

本日の会議はどうなるのか。

(原沢自治振興課長)

中央地域協議会については公表していくことで前回確認されているので、今後につきましては公表していくこととなります。

(2) 上田中央地域における具体的協議事項について

(林会長)

事務局から説明をお願いします。

(原沢自治振興課長)

総合計画の諮問が終わりまして当面市から検討をお願いする案件等はありませんので、今後の中央地域協議会の活動について、皆さんで協議いただきければと思います。

(林会長)

事前に事務局から記入シートを送付されたところであります。各委員さんからご意見をいただきたいと思っております。

【記入シートの項目】

- 1 協議会として検討したい事項
- 2 市から説明を受けたい事項
- 3 協議会として調査研究したい事項
- 4 その他

(委員)

項目 1

以前は便利の良い街として、人が集まり商店も賑わい活気のある街であったが、魅力のない街になった原因は何か。賑わいを取り戻すにはどうしたらいいか。地域住民が後世に危機感を意識させるようなことのないように、地域協議会で十分な検討が必要である。

項目 2

中央地区の住所を旧町名に変更する意向があるようであるが、どの程度の範囲

を目安にしているか、市の考えをお聞きしたい。

項目 3

上田市を観光のまちとして、集客を目的とした調査研究が必要である。上田城址公園で夏祭りが予定されているようであるが、そういったものの調査研究を行っていく。

(委員)

項目 1、3

・「歴史的遺産を擁した地域」と地域まちづくり方針にあるが、それにふさわしい景観をもって後世に伝承するために建物、樹木、道路、広場、広告塔など、どのようなものが良いのか、残すか増やすか等を検討して、この地域の建築の高さ、形、色、広さ、バランス等のまち並み景観について検討して、市政に反映させていったらどうか。

・中央地域は上田市の中心地域である。神川地区は昭和 31 年に合併して、昨年 9 月満 50 年を迎えた。合併以来支所も置かず、中央と一体となるということで努力してきたが、地区内には学校以外の公共施設が極めて少ない現状にある。神川の東側の地区には学校すらなく、保育園程度ということで、災害時の避難所についても公共施設でなく民間施設を借用してそこへ避難してくれということになっている。中央地域全体で人口 3 万 1 千人のうち神川地区には 1 万人居住している。防災の観点からも均衡ある施設設置の検討をしていったらどうか。ちなみに数年前から神川地区防災センターの設置要望を提出している。

項目 2

医療機関が弱体化している。長野病院は非常に期待され、基幹病院としてスタートしたが、麻酔医 1 名ということで手術もままならない状況である。難しい患者は佐久厚生連病院へ行ってしまうという状況である。

上田市の医療体制、高度医療のあり方について、どのような考えを持っているか、施策をお聞きしたい。

(委員)

項目 1、3

合併協議会で策定された「新生上田市建設計画」を軸に協議・審議を重ねていくことが、今までご努力いただいた方々に対して報いることになると思う。

健康元気、安心安全都市ということで、具体策を積み上げて、市政に反映させていくことが望ましいのではないかと思う。新生上田市と言った時に、すぐイメージできるようなキーワードのようなものがあればいい。観光なのか歴史なのか、産業構造からすれば 52 パーセントが第 3 次産業になっている。経済活動で勢いのあるのが第 2 次産業であるということで、携わっている人と成果を上げている人とのアンバランスがある気もする。特に、丸子、真田、武石の第 1 次産業従事者

の方々と今申し上げた観光、歴史、元気、安心といったものを具体的にどのようにリンクさせていくのがいいのか、といったことをこの協議会で審議に力を注ぎ、早期に形あるものにしていければいいと思う。

(委員)

どの項目に該当するかわからないが、長期的なビジョンを各地域で立てるべきだと思う。そうでないと、地方分権が叫ばれている今日ですので、地域における計画が場当たりの感じがしなくもないので、その点を協議会で議論していくことが大事であると思う。

(委員)

項目 1

やおふく撤退により、高齢者の方々が困っている。空ビルが多いので、それを利用できないものかと考えている。企業は採算のとれない事業には進出してこない。地元の商工会や自治会等が連携して勉強会を開いているようであるが、具体的なものが見えてこない。

地域協議会でのこの問題を取り上げて、具体策を考えていければいい。

項目 2

・JT跡地の計画について、2月16日の広報で発表された。文化会館や美術館等の整備方針が決定したとあったが、旧態依然とした箱モノありきの域から脱していない。なぜ文化会館や美術館をもってくるのか目的がはっきりしないまま、決定してしまっている。第2の夕張市の危険を感じざるを得ない。

・過日県下の市役所庁舎の耐震診断結果が発表され、上田市役所も3番目に低いと判定された。今後の対策についてお聞きしたい。

項目 3

中・高生をアンケート訪問調査に指導参加させ、子供たちに中心市街地の空洞化の現状把握と、この街に住むとはどういう意味があるかを問い掛け、意識の高揚を図っていったらどうか。

項目 4

・民間企業は、経営の存続を左右する人件費の縮減を工夫研究し実践している。先日もある識者が、役人は金利感覚、時間コストの観念がないと指摘していた。全くそうだと私は考えている。毎夜遅くまで市役所庁舎内の電気が灯っている。残業する時には、どういう理由で残業するのか届出がされると思うが、管理者が果たして不要不急のものまで残業を認めていないか、そのあたりの判断がなされて残業を許可しているのかお聞きしたい。

・会議でしばしば「時間がない」という言葉が発せられるが、何を基準にして時間がないのか。地域協議会も協議事項が多すぎるので、2時間以内に終了できるようテーマを絞ってもらいたい。

(委員)

項目 1

市役所を中心とした中央地区に人の集まれる場所をつくる。海野町会館や空き店舗を利用して、例えば子育てサポートセンターなど親子で集まれる場所を検討していったらどうか。

また、国分寺を中心に歴史と文化遺産を活かした環境整備と観光開発について検討していければと思う。

項目 2

神川地区の防災センターの建設計画はどのような状況になっているか、構想をお聞きしたい。

項目 3

人が喜んで集まれる場所の具体的な方法の検討、例えば観光事業、文化事業を進めるための調査研究をしてみたい。

(委員)

項目 1

- ・新生上田の未来を語る地域別懇談会の資料に、旧市町村の良いところは周到し、悪いところは改善する方向で新市をつくっていききたいという項目がある。真田で完全米飯給食を実施したことで、子ども達がキレなくなったり、体が丈夫になり、勉強に集中できるという非常に良い結果が出ているのに、市全体で採用されていない。今後まちをつくる担い手育成のためにも、全市的に進めていくことを検討できないか。
- ・活気があり、上田の特質を活かしたまちづくりを全員で話し合っ、検討していきたいと思う。
- ・高齢化社会を考えた時に、コンパクトシティという考え方があり、そういった高齢化社会に対応したまちづくりをこの中央協議会で検討していくべきだと思う。
- ・高齢化社会の到来に対応した公共交通網の整備について検討を進める。
- ・如何にして上田市の財政を良くするかについて検討していく。

項目 2

- ・子育て中の親が、東御市の中央公園や坂城のびんぐし公園を結構利用している。上田市としては子供が遊べる公園についてどのように考えているか、お聞きしたい。
- ・インターネットはかなり普及してきたが、ラジオを聴いている方も多いので、気軽に情報が得られるメディアが検討できないか。広報だとわかりにくい面があるので、毎日聴いているラジオならどうかと思う。
- ・中心市街地活性化基本計画はどこまで進んでいるのか、お聞きしたい。

(委員)

項目 1、2、3

- ・生ゴミの再生利用から焼却ゴミの削減化へ

今日の新聞に掲載されていたが、生ゴミの堆肥化処理のモデル地区事業として、来年度予算で 100 万円を予定しているという記事が掲載されていたが、このモデル地区はどこか。

堆肥化処理の具体策、将来の目標値の設定についてお聞きしたい。

- ・雨水利用の推進

学校、病院、施設等の雨水利用の現状を把握する。また雨水利用への予算化を進める。

- ・地域コミュニティセンターの設置とその充実した活用の具体策について検討する。

(委員)

項目 1

- ・エコロジカルシティづくりを市全体で大々的に展開する。
- ・創造館の資料室を街中へ移動できないか。
- ・駅前の市営駐車場を 30分無料から 1時間無料に延長すると、駅前の違法駐車も減り、流れがスムーズになる。

項目 2

- ・太陽エネルギーの活用について、現在市と協力してどのようなことが行われているのか。
- ・災害時の障害者の連絡網はどうなっているか。

項目 3

- ・街中の 2階、3階部分の住宅の空き状況を調べる。

(委員)

項目 1

- ・上田駅周辺と中心市街地活性化に向けた取り組みをしていったらどうか。地域の住民がどのようなまちづくりを望んでいるのか、住民の意見等を収集する。地域ごとに調査したり懇談会を開催して、住民参加により各自の意識を大事にしていければと思う。良いアイデアが出てくるのではないかなと思う。
- ・中心市街地は特に少子高齢化が進んでおり、当地域の実情に沿った安全で安心して暮らせるまちづくりをどのように進めるのか、防犯、防災、福祉支援活動等について検討していきたいと思う。

項目 2

- ・旧一中跡地の基幹保健センター構想についてお聞きしたい。

- ・上田市がリーディング産業として位置づけている観光について、市として具体的なプランはあるのか。あるとすれば、具体的な内容についてお聞きしたい。中心市街地にも観光名所があるが、個々にあるだけで面になっていないので、市として考えているプランがあればお聞きしたい。
- ・中央地域内の市所有の未利用地の状況をお聞きしたい。またそのような土地を民間へ貸与することが可能なかどうか、今後の活用についてお聞きしたい。

項目 3

- ・空き店舗を有効活用して、賑わいと交流の拠点とする。そういった場所を利用し各種団体と連携しながら、福祉、防犯、子育ての問題等について交流ができればと思う。

項目 4

上田市の玄関口である上田駅で気持ちよくお客様を迎えるため、特に交通機関関係者の接客マナー向上、観光・歴史に関して案内ができるよう、事業者は積極的な教育の推進に取り組んでもらいたい。

(委員)

項目 1

中央地域のまちづくり方針 7項目の中で、3項目に「協働」と記されているが、具体的にどのような方法があるのか。

項目 2

協働に対して市側の提案はあるのか。

項目 3

市民協働にはどのような形態があり、何ができるのか。

項目 4

2007年度の市債発行残高が、見込みで 730億円となることをふまえ、施設検討の際は、後世に大きな負担がかかることのないよう慎重な対応をお願いしたい。

(委員)

項目 1

- ・中央公民館等の公共施設が、地域のまちづくりのためにどの程度利用されているか。
- ・高齢者、障害者が暮らしやすいまちづくりについて検討する。
- ・市内には多くのまちづくりの活動団体があるが、どのような取り組み方をしているのか聞いてみたい。また答申の後でもあるので、団体の掘り起こし等も研究してみたい。

項目 2

- ・学校ごとの生徒数の実態はどうか。
- ・子どもの遊び場がないということであるが、児童センター、学童保育の実態は

どうか。

- ・給食費の未納状況についてお聞きしたい。

項目 3

- ・現在の公共交通機関の路線の住民満足度はどうか。住民の意識調査を進める。
- ・有料ゴミ袋の利用度と処理施設への還元状況についてお聞きしたい。
- ・良好な街並み形成のための建築のルールについて、住民の意識調査を行う。

項目 4

- ・中央公民館、文化会館、プラザゆう等の利用状況であるが、特定団体の偏った利用となっていないか、実態を調査する。
- ・産院のその後はどのような実態か。

(委員)

項目 1

- ・上田中央地域の地域まちづくり方針（答申）の具体化、具現化方策について検討する。
- ・地域まちづくり方針の検討にあたり、各委員が提出したシートの中から共通する課題等を絞り込み、それについて集中的に議論を進めていく。

項目 2

- ・市民会館ホール、文化センターホールの使用団体、入場者数、入場料等についてお聞きしたい。
- ・中央公民館、神川公民館の使用状況、使用実態をお聞きしたい。
- ・駅前パレオの利用状況についてお聞きかせ願いたい。
- ・JT跡地に文化センター建設という話があるが、上田市の文化度、関心度はどうか。市民の総意として盛り上がりがあるのかどうか。長野市の県民文化会館や松本市の文化センターがどの程度利用されているのか。建設して良かったかどうか、そういった点について確認しておかないと、文化センターを建設してみても、将来に禍根を残すことになってしまう気がする。足元にある施設についても、そういった意味で充足状況を知っておきたい。

(委員)

項目 1

- ・上田中央地域の核である上田駅周辺と中心市街地の活性化に向けて、地域の住民がどのような考え方でいるのか、意見、提案を収集したい。
- ・上田のまちの歴史をご存知ない市民が以外に多い。果たして上田市に住んで誇りを持っているのかと感じる。三吉慎蔵、三吉米熊、赤松小三郎といった歴史に大変な記録を残した人物がいるが、この方々の顕彰はほとんどされていない。過日展示会を開催したが、その後は倉庫に閉まったままという状態である。常

設の展示場を設け、市民の喚起を図っていただくことを提案したい。

項目 2

- ・文化施設をどういう形でもってくるのか、具体的な内容をお聞きしたい。
- ・観光立市を標榜している当市がどのようなプランを持っているのかお聞きしたい。
- ・新市建設計画の中に、「住民自治に関する基本原則をルール化、仮称住民基本条例の検討、仮称住民自治組織の設立促進」とあるが、現在の組織を否定して新たに組織が考えられるのかどうか、市側から説明していただきたい。
- ・中心市街地にマンションが続々と建設されているが、こうしたマンションの 1 階部分に店舗展開などできないものか。行政の基本的な考え方をお聞きしたい。

(委員)

項目 1

- ・旧一中跡地の活用であるが、総合的な保健センター という話も聞こえてくるが、平成 19 年度予算づけをして市議会へ提案するというのであれば、地元に対して説明をしていただきたい。幅広い機能を備えた保健福祉総合センターを建設して、市全体の保健・福祉ネットワーク拠点となるべき施設の建設を望みたい。
- ・中央地区、北部地区を担当する第三分団地域には、防災センターがない。車庫も詰所も借家である。浦里や城下のようにコミュニティセンターを兼ね備えた防災・コミュニティ拠点の建設を望みたい。

項目 2

歴史的旧町名の復活について、来年度調査費が予算に盛り込まれているとのことである。どの部分の町名を復活させるのか、行政の考えをお聞きしたい。

項目 3

半日程度バスを用意して、全委員で中央地域を視察・研修してはどうか。

(林会長)

本日お出しいただいた意見を事務局でまとめたうえで事前に送付いただき、次回の協議会で検討したい。

4 その他

(1) 上田市地域協議会委員合同研修会の開催について

原沢自治振興課長から説明

日時：平成 19 年 3 月 15 日(木) 14:00 から 16:00

場所：上田創造館文化ホール

講演：「これからの住民自治と協働によるまちづくり」

長野大学 産業社会学部 安井幸次教授

(2) 団体選出委員の変更に係る事務手続きについて

原沢自治振興課長から説明

(林会長)

ただいまの事務局説明の中で、質問等ございましたお願いします。

質問等なし

(林会長)

本日は以上をもちまして閉会といたします。